

【2022 年度説明会での質問】

Q1 プログラムが中止になった学生への優遇措置はありますか。

A: 同プログラムが次年度に実施される保証がないため、優遇措置は設けておりません。

Q2 プログラムをいくつまで申請することができますか。

A: 基本的には1次募集1プログラム、2次募集1プログラム、研究室プログラムです。

(海外1次+国内2次+研究室、海外1次+海外2次+国内2次+研究室、国内1次+国内2次+研究室に申請可能)ただし海外1次プログラムで採択されなかった場合は国内1次プログラムに申請することができます。どのプログラムも辞退や途中放棄しないよう十分計画をして参加申請してください。

Q3 学部4年で卒業後は就職する予定ですが、卒業間際の2月のプログラムには応募できますか。

A: 東京大学に在籍中は応募可能です。

Q4 ガイダンスや活動等の日程について就職活動と被った場合には、就職活動を優先しても構わないでしょうか。

A: プログラム催行には多大な時間と労力がかかっていますので、極力被らないように努力してください。

Q5 海外プログラムに参加するために必要な費用はどれくらいですか。

A: 航空券を予約する時期によって価格は大きく変動しますので一概には言えませんが、プログラムの募集要項に企画者が概算費用を掲載していますのでご参考ください。

Q6 単位の認定はありますか。

A: 単位認定はありません。正課外の活動です。

Q7 海外プログラムの現地活動後、入国者の日本での隔離期間への対応やかかる費用について教えていただけますか。

A: 新型コロナウイルスの感染者数により政府の対応が異なるため、厚生労働省ホームページなどからご自身でお調べいただきます。

Q8 海外プログラムの現地活動がオンラインに変更になった場合、辞退できますか。

A: オンラインに切り替えて実施することになっても、参加する前提でお申し込みください。

Q9 活動日に用事が入った場合は、辞退できますか。

A: 体験活動プログラムは自主活動ですが授業と同等の学内行事です。プログラム催行には多大な時間と労力がかかっていますので、中途半端な気持ちで参加申請し、辞退するようなことは絶対にしないでください。

Q10 海外プログラムに参加する場合、学外機関の奨学金を申請することはできますか。

A: 支給要件を満たす場合、申請を妨げるものではありません。

Q11 海外プログラムで事前に言語研修があるプログラムは、選考の際にその言語の学習経験は重要視されますか。

A: プログラムごとに選考基準は異なるため一概には言えませんが、これまでの経験や、スキル習得に前向きで、学習意欲が高いことをアピールしてください。

Q12 外国籍により参加できないプログラムはありますか。

A: 一部ございますので、募集要項の参加資格、備考欄をご確認ください。

Q13 選考基準や倍率が高いプログラムについて教えてください。

A: 選考基準の決め方はプログラム企画担当の方しだいですが、プログラムから何を学ぼうとしているのかという熱意に企画担当の方々はより注目して採用を決定する傾向があります。倍率は、その年の状況によるため何とも申し上げられません。

Q14 自己負担額の総額はいつ頃確定しますか。

A: 活動終了後、「総支出額」から「奨励金」を差し引くと確定します。

Q15 プログラムの日程調整はいつ頃行われますか。

A: プログラムの内容により個別に日程が決まるもの、参加者の多くが集まる日に設定されるものなど様々です。

Q16 海外プログラム渡航可否の判断基準を教えてください。

A: 外務省海外安全ホームページ「国・地域別の海外安全情報」のレベル及び「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国に際しての条件・行動制限措置」、本学の活動制限指針を踏まえ、判断します。

Q17 フィールドスタディ型政策協働プログラム（FS）との同時応募はできますか。

A: FS との同時応募は可能ですがスケジュール調整、ご自身の体調管理をしっかり行うことが必要になります。